



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月13日

上場会社名 ゲンダイエージェンシー株式会社  
 コード番号 2411 URL <http://www.gendai-a.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山本 正卓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 高 秀一

TEL 03-5308-9888

四半期報告書提出予定日 平成29年10月31日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,878	△14.6	430	△31.5	449	△24.4	312	△21.4
29年3月期第2四半期	8,056	△2.9	628	20.9	594	13.2	397	19.2

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 289百万円 (22.7%) 29年3月期第2四半期 373百万円 (10.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	20.75	—
29年3月期第2四半期	25.67	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	7,829	5,642	70.6	367.11
29年3月期	8,330	5,436	65.2	360.66

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 5,524百万円 29年3月期 5,427百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	13.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△11.7	900	△29.1	900	△29.1	600	△27.9	39.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成29年10月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	15,050,000 株	29年3月期	15,050,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	— 株	29年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	15,050,000 株	29年3月期2Q	15,477,326 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P2.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料はTDnetで同日開示しております

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報.....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、雇用状況や所得の改善が進んでおり、穏やかな景気回復が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、ユーザーの参加頻度や投資金額が減少した結果、収益面で厳しい状況が続いております。また、昨今の依存症対策や射幸性抑制を目的とした業界規制の強化の流れを受け、先行きに不安を感じるホール企業は増加傾向にあり、業界全体で新規出店、店舗リニューアルや新遊技機の積極購入といった投資意欲は、過去と比較しても著しく減退しつつあることがうかがえます。

こうした厳しい環境下で、当社グループでは主力の広告事業において収益構造の転換を図るべく、インターネットメディアの積極的な拡販活動や、パチンコホール業界以外の異業種向けサービスであるプリンティング事業の拡大に注力し、収益の底上げを図ってまいりました。また、併行して収益性改善のための固定費抑制にも取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,878百万円（前年同期比14.6%減）、営業利益は430百万円（同31.5%減）、経常利益は449百万円（同24.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は312百万円（同21.4%減）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

#### (広告事業)

当第2四半期連結累計期間におけるパチンコホール広告市場は、パチンコホール企業における収益性悪化を要因とする広告予算の削減が続いたことに加え、新台入替の頻度が減少したことによる告知需要の減少もあり、広告需要は著しく低迷する状況にありました。さらに、新規出店意欲の減退もあり、例年と比較しても、新規出店は極端に少なかったことから、大型の新規出店告知需要は極端に減少いたしました。また品目別に見ると、これまでパチンコホール広告の主力であった折込広告を始めとする紙媒体広告の需要縮小が急激に進んでおります。

こうした環境下において、当社グループでは、従来の紙媒体広告からインターネット広告への段階的なシフトによる収益構造の転換を図るべく、自社メディアである「パチ7」やDSP広告「パチアド」を中心としたインターネットメディアの拡販や、異業種向けプリンティング事業の営業強化を推進してまいりました。また、コスト面においては、受注プロセスの抜本的な見直しによる合理化、省力化を進めることで、固定費の抑制に注力いたしました。

これらの取組みは一定の効果をあげたものの、急激な需要の減少の影響を相殺するには至らず、その結果、売上高は6,803百万円（前年同期比14.4%減）、セグメント利益は、638百万円（同17.7%減）となりました。

#### (不動産事業)

当第2四半期連結累計期間においては、連結子会社㈱ランドサポートにおいて、本年2月に新規取得した千葉県柏市の土地の賃貸案件に加えて、賃貸物件仲介案件（11百万円）を成約いたしました。

なお、不動産事業セグメント損益については、前期末における神戸市の土地賃貸物件売却の影響により、売上高は36百万円（前年同期比50.0%減）、セグメント利益は17百万円（同49.5%減）となりました。

#### (その他)

当第2四半期連結累計期間においては、連結子会社Gendai R1 Ltd.における香港飲食事業に加えて、当社においてストレージ事業のテストを行っております。また、前期末に東南アジアにおけるカジノ運営事業への参入を目的として設立したシンガポール連結子会社GDLH Pte.Ltd.においては、本年6月より同社カンボジア支店の営業を正式開始し、カンボジア、パイリン地区におけるスロットマシンオペレーション業務を受託しております。

その結果、売上高は38百万円（前年同期比4.0%減）、セグメント損失は、主としてカジノ運営事業における初期投資負担の影響等により45百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期末における総資産は7,829百万円となり、前連結会計年度末比501百万円の減少となりました。これは、主に、配当、納税や連結子会社におけるスロットマシン等の固定資産取得等により現金及び預金が424百万円減少した他、取引高の減少により売上債権が125百万円減少した一方で、上記のスロットマシン等の取得に伴い、有形固定資産(その他)が187百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は2,186百万円となり、前連結会計年度末比707百万円の減少となりました。これは、主に短期及び長期の借入金合計が返済により420百万円減少した他、取引高の減少により仕入債務が206百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は5,642百万円となり、前連結会計年度末比205百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益312百万円を計上したことに加えて、非支配株主による連結子会社の増資112百万円があった一方で、利益配当195百万円を実施したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益449百万円を計上した他、主として取引高の減少により、売上債権の減少116百万円と仕入債務の減少△206百万円があった一方で、前期決算に係る法人税等の納付額△242百万円があったこと等により270百万円の収入(前年同期は643百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主としてカジノ運営事業の開始に伴うスロットマシン等の固定資産取得による支出等△232百万円があった他、投資有価証券の取得による支出△153百万円があった一方で、投資有価証券の償還・売却による収入190百万円があったことから△201百万円の支出(前年同期は△126百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期及び長期借入金の返済による支出が合計で△420百万円があった他、前期決算に係る期末配当金の支払△195百万円があった一方で、連結子会社の増資による非支配株主からの払込みによる収入112百万円があったこと等により△503百万円の支出(前年同期は△700百万円の支出)となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物は当第2四半期において△425百万円減少し、3,943百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、通期の業績予想を修正しております。詳細は、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,374	3,949
受取手形及び売掛金	1,870	1,744
有価証券	290	150
繰延税金資産	17	12
その他	209	114
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	6,760	5,971
固定資産		
有形固定資産		
土地	521	521
その他(純額)	159	346
有形固定資産合計	681	868
無形固定資産		
のれん	5	3
その他	102	92
無形固定資産合計	107	96
投資その他の資産	781	893
固定資産合計	1,570	1,857
資産合計	8,330	7,829
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,132	925
短期借入金	300	—
1年内返済予定の長期借入金	240	240
未払法人税等	239	136
その他	188	211
流動負債合計	2,100	1,513
固定負債		
長期借入金	760	640
資産除去債務	8	8
その他	24	24
固定負債合計	793	673
負債合計	2,893	2,186
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,063
利益剰余金	3,572	3,689
株主資本合計	5,387	5,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	6
為替換算調整勘定	23	14
その他の包括利益累計額合計	40	20
非支配株主持分	9	117
純資産合計	5,436	5,642
負債純資産合計	8,330	7,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,056	6,878
売上原価	6,217	5,280
売上総利益	1,839	1,598
販売費及び一般管理費	1,210	1,167
営業利益	628	430
営業外収益		
受取利息	0	0
有価証券利息	1	1
受取配当金	1	0
為替差益	—	17
その他	3	1
営業外収益合計	7	21
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	35	—
その他	3	0
営業外費用合計	41	3
経常利益	594	449
税金等調整前四半期純利益	594	449
法人税、住民税及び事業税	191	160
法人税等調整額	4	△19
法人税等合計	196	140
四半期純利益	397	308
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	397	312

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	397	308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△10
為替換算調整勘定	△15	△8
その他の包括利益合計	△23	△19
四半期包括利益	373	289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	373	292
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△3



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	594	449
減価償却費	50	58
のれん償却額	1	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	8
受取利息及び受取配当金	△3	△2
支払利息	2	2
為替差損益 (△は益)	35	△17
売上債権の増減額 (△は増加)	310	116
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△0	△12
仕入債務の増減額 (△は減少)	△196	△206
その他	42	112
小計	835	510
利息及び配当金の受取額	5	5
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△196	△242
営業活動によるキャッシュ・フロー	643	270
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△1
有形固定資産の取得による支出	△43	△232
無形固定資産の取得による支出	△7	△8
投資有価証券の取得による支出	△162	△153
投資有価証券の売却及び償還による収入	150	190
敷金及び保証金の差入による支出	△1	△0
敷金及び保証金の回収による収入	16	0
その他	△77	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126	△201
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△300
長期借入金の返済による支出	△120	△120
自己株式の取得による支出	△345	—
配当金の支払額	△235	△195
非支配株主からの払込みによる収入	—	112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△700	△503
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△225	△425
現金及び現金同等物の期首残高	3,513	4,368
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,287	3,943

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	広告事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	7,943	72	8,016	40	8,056	—	8,056
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,943	72	8,016	40	8,056	—	8,056
セグメント利益又は損失 (△)	775	35	810	△6	803	△174	628

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、飲食事業及びストレージ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△174百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△174百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	広告事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	6,803	36	6,840	38	6,878	—	6,878
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,803	36	6,840	38	6,878	—	6,878
セグメント利益又は損失 (△)	638	17	655	△45	610	△179	430

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、東南アジアカジノ運営事業、飲食事業及びストレージ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△179百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△179百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注状況

当社グループの商品・サービスは、受注から納品までの期間がきわめて短いため、記載を省略しております。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) (百万円)	前年同期比 (%)
広告事業		
折込広告	3,213	74.5
販促物	908	78.2
媒体	960	95.5
その他	1,721	117.7
広告事業計	6,803	85.6
不動産事業	36	50.0
その他	38	96.0
合計	6,878	85.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。